

箴言6 第15章「癒しをもたらす舌」

2018/05/23 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

同様の言葉が15章にもある。

「15:16 財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは、乏しくても主を畏れる方がよい。」

「15:33 主を畏れることは諭しと知恵。名誉に先立つのは謙遜。」

2. 弱者へのまなざし

「15:25 主は傲慢な者の家を根こそぎにし、やもめの地境を固めてくださる。」

15章の前後の言葉も大切にしたい。

「14:31 弱者を虐げる者は造り主を嘲る。造り主を尊ぶ人は乏しい人を憐れむ。」

「16:8 稼ぎが多くても正義に反するよりは、僅かなもので恵みの業をする方が幸い。」

- ・このような関心が「箴言」にもあることに注目したい。人と人との間に、また社会に、正義と公正が行われることが、神の願いであり、聖書の関心である。

3. 15章に繰り返されるテーマ（のひとつ）は「舌」「口」「言葉」

「1 柔らかな応答は憤りを静め／傷つける言葉は怒りをあおる。

2 知恵ある人の舌は知識を明らかに示し／愚か者の口は無知を注ぎ出す。

3 どこにも主の目は注がれ／善人をも悪人をも見ておられる。

4 癒しをもたらす舌は命の木。よこしまな舌は氣力を砕く。」

- ・癒しをもたらす声をわたしたちは神から、イエスから聞く。

「わたしはあなたをいやす主である。」出エジプト記 15:26

「わたしは唇の実りを創造し、与えよう。平和、平和、遠くにいる者にも近くにいる者にも。

わたしは彼をいやす、と主は言われる。」イザヤ書 57:19

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。[わたしがあなたがたを＝ギリシア語原文にあり]休ませてあげよう。」マタイ 11:28

- ・お互いの間でもそうでありたい。

- ・ひとつの例——ボアズとルツの対話から（ルツ記）

「2:12 どうか、主があなたの行いに豊かに報いてくださるように。イスラエルの神、主がその御翼みつばさのもとに逃れて来たあなたに十分に報いてくださるように。」

「2:13 わたしの主よ。……心に触れる言葉をかけていただいて、本当に慰められました。」

4. 祈りへの促し

「15:8 主は逆らう者のいけにえをいとひ／正しい人の祈りを喜び迎えられる。」

「15:29 主は逆らう者に遠くいますが／従う者の祈りを聞いてくださる。」

5. 印象的な言葉

「15:13 心に喜びを抱けば顔は明るくなり／心に痛みがあれば霊は沈みこむ。」

「15:17 肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。」

「15:18 激しやすい人はいさかいを引き起こし／忍耐深い人は争いを鎮める。」

……